

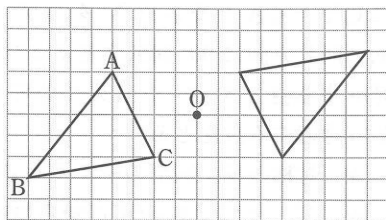
22 図形の移動

❖問題❖

→p.138~p.139

問題1 (1) 辺 EF (2) 線分 BE, 線分 CF

問題2 (1)



(2) (線分 AD の) 中点

問題3 (1) PR (2) $\perp$ (3) =

(4) QDM

問題4 対称移動

解説

問題1 (1) 平行移動では、対応する辺は平行で長さが等しい。

(2) 平行移動では、対応する点を結ぶ線分は平行である。

問題2 (1) 回転の中心 O と三角形の頂点を通る直線をひき、直線上に O から三角形の頂点までの距離が等しい点をとって、対応する点とする。

(2) $AO = DO$ だから、AD の中点となる。

問題3 (2) 対称移動では、対称の軸は対応する点を結ぶ線分を垂直に 2 等分する。

(3) ℓ は線分 CQ の垂直二等分線だから、M は CQ の中点となる。

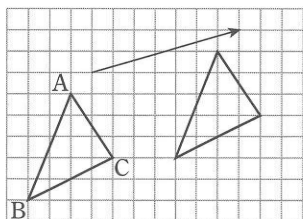
(4) $\angle CDM$ を直線 ℓ について折り返すと $\angle QDM$ に重なる。

問題4 $\triangle PHE$ は $\triangle AEG$ を裏返した形になっている。平行移動や回転移動では図形を裏返すことはできないから、対称移動は必ず使う必要がある。

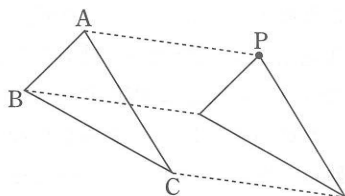
❖基本問題❖

→p.140

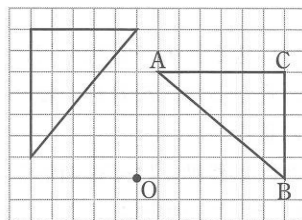
1 (1)



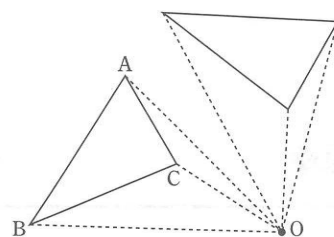
(2)



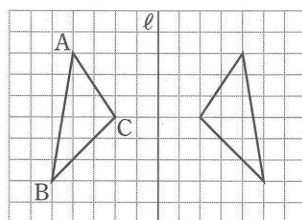
2 (1)



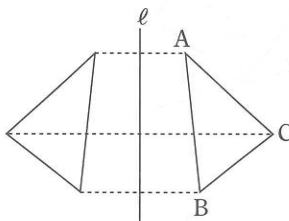
(2)



3 (1)



(2)



4 (1) 平行移動と回転移動 (2) ① (3) ①

解説

1 (1) 矢印は右に 7 目もり、上に 2 目もり移動することを示しているから、 $\triangle ABC$ の各頂点をそれぞれ右に 7 目もり、上に 2 目もり移動した点をとって、対応する点とする。

(2) B を通り線分 AP に平行な直線をひき、直線上に B から AP と同じ長さだけ離れた点を A から P と同じ方向にとって、対応する点とする。点 C についても同様にして対応する点をとる。

2 (1) OA から時計の針の回転と反対の方向に、O を頂点とし OA を 1 辺とする 90° の角をつくり、角のもう 1 つの辺上に $OA' = OA$ となる点 A' をとり、対応する点とする。点 B, C についても同様に対応する点をとる。